

家族やあなたのために知ってほしい

No.
Date

認知症とは？

脳の病気や障がいなどさまざまな原因により、認知機能が低下し、日常生活全般に支障が出てくる状態のこと。認知症は誰でもなりうる病気で、年齢が高くなるほど発症しやすくなります。令和7年には、約700万人（高齢者の約5人に1人）が認知症になると予測されています。

認知症の有無に関わらず、希望を持って日常生活を過ごせるように認知症への理解を深めましょう。

あぐい防災・行政ナビ「AguNavi」

行方不明者の発生時、お使いのスマートフォンに情報を配信します。多くの方にアプリをダウンロードしていただくことで、早期発見、保護につながります。



ダウンロード方法
詳しくは町ホームページ (<http://www.town.agui.lg.jp/ka/agnavi.html>) を確認してください。



高齢者おかえりサポート事業

認知症の在宅高齢者が行方不明となった場合に、早期発見、事故の未然防止のため、あらかじめ町に高齢者の特徴や緊急連絡先を登録する事業。登録者は、個人賠償責任保険に加入します。

登録のメリット

- ▽ **早期発見** 高齢者が行方不明になった場合、警察などが捜索の際に事前の登録情報を共有することで、早期発見に役立ちます。
- ▽ **おかえりサポートシール** 登録者が困っているときに、声掛けや通報など、周囲から手助けを得られやすくなります。
- ▽ **個人賠償責任保険** 町が契約者となり、登録者が法律上の損害賠償責任を負うこととなった場合、最大3億円を補償します。

申請場所 町地域包括支援センター

申請時の持ち物 対象者の胸より上の写真と全身の写真（L版サイズ各1枚・できるだけ最近撮影したもの）、印鑑

認知症ケアパス

認知症の方を支える町の取り組みをまとめたガイドブック。認知症の進行状況（予防、軽度、中等度、重度）に合わせて、いつ、どこで、どのような医療・介護サービスなどを受けられるのか、具体的な機関名やサービス内容を体系的に紹介しています。

配布場所 健康介護課介護保険係
町ホームページ (<https://www.town.agui.lg.jp/ka/care-pathway.html>) からダウンロードすることもできます。



認知症初期集中支援チーム

認知症やその疑いのある方へのファーストタッチとして、家庭を訪問し、心配なことなどを伺った上で適切な医療・介護サービスなどを受けられるように支援します。保健師、社会福祉士などの医療・福祉の専門職のチームが早期・短期間集中的に対応することで、認知症の進行の予防につなげます。町地域包括支援センターまでご相談ください。

認知症地域支援推進員

認知症の容態の変化に応じた医療・介護などのネットワークをつくり、認知症の方が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように効果的な支援を行います。

町では、現在8人の認知症地域支援推進員が、認知症ケアパスの作成や普及・啓発、認知症のミニ講座や認知症サポーター養成講座の実施などに関わっています。また、認知症セミナーや認知症カフェの開催などにも携わっています。



問い合わせ先

阿久比町役場 ☎ (48) 1111 健康介護課介護保険係 (内1125・1126・1131)
地域包括支援センター (内1127・1128)